

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績の概要
北海道	カフハラ 河原 リョウイチ 諒一	昭和46年から50年間にわたり、当別町交通安全指導員として、交通安全運動期間はもとより日常においても街頭指導を行い、交通安全教室や出前講座に積極的に参加する等、地域住民への交通安全思想の普及、交通安全の確保のための活動をしている。 また、当別町交通安全指導員会の顧問として、若手指導員の育成活動に尽力している。
岩手県	キクチ 菊池 トシユキ 敏行	昭和60年から遠野市交通安全協会松崎分会の理事となり、同協会の顧問の現在に至るまでの36年間、平成14年からは岩手県交通安全協会理事として、季節運動等による広報啓発活動、高齢者在宅訪問、子どもに対する交通安全思想の普及啓発活動等を行い、県内の交通安全活動と交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
山形県	タムラ 田村 タダシ 正	昭和55年から山形市交通指導員として、通学児童・生徒をはじめ地域住民等の交通安全を確保するため、毎朝街頭指導に従事している。 また、学校、警察、交通安全関係機関等と緊密に連携を図りながら、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
群馬県	フエハラ 上原 カズオ 計夫	昭和55年から高崎市片岡町の交通指導員として地域の交通安全行事に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
埼玉県	カトウ 加藤 カツユキ 克行	昭和44年に伊奈町交通指導員として委嘱されて以来、小学校の通学路での立哨活動や町内の小学校を対象とした交通安全教室等に参加し、他の交通指導員の模範となるとともに、町の交通指導員の代表として、交通安全の普及に貢献している。
東京都	オンダ 恩田 トシノブ 俊信	昭和45年に赤羽交通安全協会に入会し、平成29年からは同協会の会長として、高齢者の住居率の高い北区における交通事故防止に尽力する等、赤羽地区の交通安全活動を活発に推進している。 また、「交通安全は地域から」をモットーに赤羽警察署管内の事業所等に働きかけ、同協会の組織拡大に努めたほか、地域住民の交通安全意識の高揚、交通安全施設の整備に力を入れ、当署管内の交通事故防止に貢献している。
神奈川県	クドウ 工藤 アキラ 明	昭和46年から青葉交通安全協会等の役員として、通学児童・高齢者を中心に交通誘導・指導に従事し、地域の住民・企業に交通安全を呼びかける啓蒙啓発活動を実施して交通事故抑止機運を高めている。 また、平成18年からは青葉交通安全協会の会長として地域内に電柱幕を設置、広報機器の導入を図る等、交通安全思想の普及・高揚に貢献している。

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績の概要
富山県	イケダ ヨシテル 池田 義輝	昭和61年から大沢野地区（現：富山南）交通安全協会理事に就任後、現在は名誉会長兼大沢野支部長として、永年にわたり協会の育成と円滑な運営に尽力している。 また、昭和58年に富山市の交通指導員に委嘱され、現在は富山南交通指導員連絡協議会の会長として交通安全教室、通学路周辺での街頭監視、イベントの交通整理等、地域の交通事故防止活動に貢献している。
静岡県	カワムラ テイジ 河村 禎士	平成2年から吉田町の交通指導員として地域の交通安全行事に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかける等、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
兵庫県	コタニ カツミ 粉谷 勝巳	昭和48年に東灘交通安全協会に入会後、通学・通園路での学童立番、高齢者交通安全教室、自転車交通安全教室等を長年実施している。 また、地元自治会長も務め、住民との良好な人間関係を維持しつつ、区役所、警察、交通関係団体と連携を密にして、地域における交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
奈良県	フジオカ ヒロコ 藤岡 廣子	昭和54年から王寺町交通安全母の会の役員として地域の交通安全活動に従事し、現在は奈良県交通安全母の会連合会会長に就任し、町だけでなく県全体の交通安全活動に精力的に取り組んでいる。 登校の見守り活動や街頭啓発はもちろんのこと、特に学校や幼稚園での交通安全教室に尽力し、交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をしている。
和歌山県	タナカ ヨウイチ 田中 洋一	昭和46年に和歌山市交通指導員に委嘱されて以降、現在に至るまで交通指導員として活動し、毎月1日、15日の通学路における街頭指導をはじめ、各季の交通安全運動期間中の街頭啓発活動や小学生に対する交通安全教育への参加等、地域の交通安全ボランティア活動に積極的に参画するなど、和歌山市の交通事故防止活動や交通安全思想の普及、高揚に貢献している。
鳥取県	タカクラ テルヨシ 高倉 照由	昭和54年から交通安全指導員として地域の交通安全活動に積極的に参加し、小学校の通学路での立哨活動、交通安全運動期間中の各種イベント参加等、交通安全活動を率先して行っている。 また、平成2年から現在に至るまで、倉吉市交通安全指導員連絡協議会関金支部長として交通安全指導者の育成等に貢献している。
島根県	ヨシダ ヨシエ 吉田 良枝	昭和63年に出雲市交通指導員に委嘱されて以来、地域の児童の通学路である主要交差点等での街頭指導を行い、平成27年からは出雲地区地域交通安全活動推進委員の会長に就任し、地域住民の交通道徳啓発に努め、交通安全意識の高揚と交通事故防止に尽力し、安全思想の普及に貢献している。

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績の概要
香川県	ホシノ マサル 星野 勝	平成3年から三木町の交通指導員として地域の交通安全行事に従事し、通学、通勤路での街頭指導や、児童や高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかける等、交通事故防止及び交通安全思想の普及、高揚に貢献している。
福岡県	テグチ マサハル 出口 正春	昭和61年から継続して、交通安全指導員として通学路等における児童等への街頭交通指導や自転車指導を実施し、住民の交通安全意識の向上や交通事故の発生抑止等を行っている。 また、住民に対して交通安全を呼び掛けるキャンペーンにも積極的に参加し、春日地区交通安全協会春日支部の支部長としても活躍するなど、交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
佐賀県	イグチ カズヤ 井口 一哉	平成元年から川副町交通安全指導員として、市町村合併後は佐賀市交通安全指導員として、地域の交通安全行事に従事し、小・中・高の通学路での児童・生徒の交通指導、市が主催する各種キャンペーンの参加や地域からの依頼に応じた活動等を行う等、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
熊本県	キムラ カンゴン 木村 勝吉	平成3年から松橋町（現宇城市）の交通指導員として地域の交通安全行事に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
大分県	ヒロセ アキラ 廣瀬 彰	昭和44年に佐伯市交通安全指導隊の創設にあたり中心的な役割を果たすとともに、同隊長も務め、現在の指導隊の礎をつくった。 地域の交通安全行事に積極的に関与し、通学、通園路において園児、児童及び生徒の保護誘導活動や、同指導隊員として適切な助言指導を行う等、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
宮崎県	スミ ムカ 角 豊	平成元年から延岡市の交通指導員として地域の交通安全行事に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者への交通安全指導を始めとして、地域住民への交通安全の呼びかけや、行政・警察・学校への交通危険個所の情報提供やその対策を働きかける等、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に貢献している。
沖縄県	シンザト タカユキ 新里 孝行	平成2年から交通安全新里支部員として、交通量の多い県道の主要交差点において幼稚園生、小中学生の安全誘導を実施し、また、平成7年から地域交通安全活動推進委員として、看板やチラシの作成・配付、各季の交通安全運動やイベントに参加する等、交通安全思想の普及高揚及び交通事故防止に貢献している。

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績の概要
岩手県	イチノヘキシリツニイヌマホイクエン 一関市立新沼保育園	一関市交通指導員や東磐井地区交通安全協会指導員による年3回の交通安全教室に加え、毎月1回、園職員らによる交通安全指導を実施し、園児の交通事故防止と安全意識の高揚に努め、未就学児からの交通安全教育に尽力している。 昭和55年から毎年、新沼地区老人クラブと協力し手作りマスコットを作成し、秋の全国交通安全運動期間中に近隣主要道でドライバー等に配布する「交通安全キャンペーン」に取り組んでおり、地域の交通安全思想の普及・啓発活動に多大な貢献をした。
石川県	ハシタテチク 橋立地区まちづくり スイシンキョウギカイ 推進協議会	加賀市内の橋立地区における9町、約1,100世帯、約2,700人の住民に対し年間を通じ、同地区から1件の交通事故を出さないをモットーに交通安全の啓発に努めている。 「春、秋の全国交通安全運動」期間中、交通安全大会等への啓発活動や、町内車両パレード等を実施して交通安全思想の普及や交通事故防止に努め、平成30年11月には同地区交通死亡事故ゼロ5,000日を達成する等の多大な貢献をした。
山梨県	イチカフミサトチョウウツウアンゼン 市川三郷町交通安全 ハハカイ 母の会	高度成長期時代に車の台数が増加し、子供の交通事故が多発したことにより、PTAを中心として設立し、所轄警察署や関係機関・団体等と連携を図りながら、地域の実情に即した交通安全活動に積極的に取り組み、組織ぐるみの交通安全対策を推進してきた。 活動の中でも児童と高齢者の交通事故防止対策に力を入れ、交通安全母の会独自に交通体験を取り入れた実践的な教育活動を実施するなど啓発活動を行い多大な貢献をした。
和歌山県	ハシモトシコウツウシンドウインカイ 橋本市交通指導員会	警察、地元自治会、学校等の関係機関と緊密に連携し、小学校、幼稚園等における交通安全教育、通学路における交通安全指導、広報車による交通安全広報啓発活動、各季交通安全運動期間中の街頭啓発等の活動により、地域社会の交通安全、交通事故防止、市民への交通安全思想の普及、交通道德の向上に多大な貢献した。
沖縄県	オキナワシコウツウアンゼンハハ 沖縄市交通安全母の カイ 会	「交通安全は家庭から」をスローガンに地元警察署、市役所、学校などの関係機関・団体と連携を図り、各季（春、夏、秋、年末年始）の交通安全運動開始式への参加や各種交通安全啓発イベント等に積極的に参加し、組織ぐるみで交通安全対策を推進してきた。 また、新入学児童に対する交通安全手作りお守りの贈呈、通学路における早朝の街頭活動及び会員に対する交通安全講話の実施など幅広く交通安全に係る取組を行い、交通事故防止及び交通安全思想の普及啓発に多大な貢献した。

受賞者名 (個人・団体・市区町村)	功績の概要
アキタケンゴジョウメマテ 秋田県五城目町	<p>秋田市と能代市を結ぶ国道7号線が南北に、潟上市と北秋田市などを結ぶ国道285号線が東西に走り、これに主要な県道5路線が交わっていることから、町内を走る通過車両は比較的多い。さらに、町民の生活を支える町道553路線が錯綜している現状である。</p> <p>また、町内居住者の高齢者の割合は47%であり、公共交通機関も不十分な状況から、町民の移動手段は主に自動車である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各季の交通安全運動などでの街頭指導の実施。</li> <li>2 各季の交通安全運動、飲酒運転追放県民運動強調期間（8・12月）において、飲酒運転根絶のため町内飲食店への巡回訪問等を実施。</li> <li>3 高齢者の交通安全対策として、イベント会場での反射材貼付運動の推進。</li> <li>4 認定こども園や小中学校、事業所等を訪問しての交通事故防止啓発活動の実施</li> <li>5 五城目町交通安全対策協議会を設置し、町民・関係団体と一丸となった対策の推進。</li> </ol>
ニイガタケンイズモザキマテ 新潟県出雲崎町	<p>新潟県の中央部の海岸沿いに位置し、面積は44.38km<sup>2</sup>、町内を国道116号線、国道352号線、国道402号線3本の主要幹線道路が通っており、川西交差点付近では、一日の交通量は約9,000台となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育園、小学校、中学校、老人クラブでの交通安全教室の実施</li> <li>2 交通安全週間中の街頭指導の実施（令和2年度実績 3ヶ所、延べ12回）</li> <li>3 交通指導員による交通指導車での啓発巡回活動</li> <li>4 交通安全施設（交通安全灯、カーブミラー）の整備</li> <li>5 町交通安全協会の交通安全啓発活動への補助</li> <li>6 新潟大学・新潟県警と連携したトリトンプロジェクトの実施（身体機能のデータ解析を交通運動に結び付け、安全なまちづくりにつなげる）</li> </ol>

受賞者名 (個人・団体・市区町村)	功績の概要
ヒョウゴケンサンダシ 兵庫県三田市	<p>兵庫県の南東部に位置し、大規模住宅団地の開発に伴い大阪・神戸の衛生都市として急激な発展を遂げた。市内には国道176号及び高速自動車国道のIC2ヶ所、JR、神戸電鉄の駅が所在し、公共交通機関としては大阪・神戸への直通バスが運行しており、旅客や流通の要所となっている。</p> <p>市内には大阪・神戸のベッドタウンとして多くの家族世帯が居住し年齢構成も幅広く、市内居住者の交通手段は、自動車、公共交通機関、自転車、徒歩と多岐にわたっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>交通安全街頭啓発キャンペーンの実施 春・秋の全国交通安全運動及び夏・年末の県交通事故防止運動期間中、並びに三田まつり等のイベント時に実施。</li> <li>交通安全ポスターコンクールの実施 小中学生の交通安全意識の高揚を図り、市民への啓発を目的として、市内の小中学生を対象として交通安全ポスターを募集。</li> <li>交通安全教室の実施 対象者施設などに赴き、交通安全教室を実施。 自転車交通安全教室の実施及び免許証の発行。 危険運転予測トレーニングやドライブシミュレータを活用した認知機能体験やサポートカー同乗体験。</li> <li>交通安全折り紙マスコット「ぶじがえる」の贈呈・配布 市内高校生から、園児の交通安全を祈念し作成した交通安全折り紙マスコット「ぶじかえる」の贈呈を受け、交通安全教室において市内園児に配布。</li> <li>横断歩道合図（アイズ）運動の実施 兵庫県警察が、横断歩行者の交通事故抑止を目的とした横断歩道合図（アイズ）運動を試験実施するにあたり、推薦市を管轄する三田警察署がモデル警察署に指定されたことに伴い、合同で街頭啓発キャンペーン等を実施。</li> </ol>
ナラケンサンゴウチョウ 奈良県三郷町	<p>大阪府柏原市と隣接する場所に位置し、国道25号と国道168号を結ぶ県道椿井王寺線や信貴山や信貴生駒スカイラインと国道を結ぶ県道信貴山線が町を縦横断し、交通量は常に多い。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>春・秋の交通安全県民運動時には、三郷町交通対策協議会、三郷町交通安全協会が地元警察等の交通関係機関・団体を巻き込んで一丸となって積極的に運動を展開している。 運動期間中には、町内全域に配布される広報紙に交通安全運動の重点等を掲載し、地域住民に対する交通安全意識の高揚を図るとともに、町内の駅前広場等での啓発活動や正しい交通ルール・マナー実践の習慣化を目指し、シートベルト・チャイルドシートの着用指導を実施する等、地域に根ざした交通安全活動を展開している。</li> <li>子供と高齢者の事故防止対策として町内主要交差点等にて登下校時の児童・生徒に対して立哨指導や広報車による見守り活動をはじめ、歩行中の交通事故死傷者が多い新一年生に対してランドセルカバーを贈呈、交通安全講話を実施して児童の交通安全意識の高揚を図るとともに、高齢者には交通安全ルールを取り入れたゲートボール大会を開催して参加者に交通安全指導を行っている。</li> <li>また、道路利用者が安全に道路を通行できるように、三郷町交通対策協議会や三郷町交通安全協会と連携し、町内全域の交通安全施設の点検を行っている。</li> </ol>